

令和5年度 市長とちよこっトーク（今市地区） 会議結果（要旨）

日時	令和5年9月30日(土) 10時00分～11時30分
参加者	日光市長 今市地区まちづくり協議会 10名
テーマ	住みやすくにぎわいのある街にし、次世代にバトンタッチするためには
意見交換	<p>【課題1】 少子高齢化・人口問題</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光市は、人口減少、少子高齢化、限界集落等、すべてあてはまりイメージが悪いと感じる。 ・中心市街地においても、高齢者人口が増加し、商店街が高齢化している。 ・若者が市外に流出し、日光に戻って来ない状況にあり、それが人口減少につながっている。 ・人口減少をくい止める為にも、若い方が結婚したいと思えるような街にするべきである。 ・少子化については、結婚しても、子供がいても働きやすい環境づくりが一番である。 ・人口減少は、学校の選択肢や働く場が限られてしまうために、利便性を求めて都市部へ移住する人が増えるため、人口が減少してしまっている。 ・高齢者も福祉や交通、買い物などの利便性を考慮して、転居してしまう人が増えることが考えられる。これらに対応した施策が必要ではないか。 ・学ぶ場所、働く場所を提供し、ここで結婚したい、子育てしながら働きやすい、暮らしていきたいと思ってもらえる市にしていきたい。 ・出会いの場として、市役所の駐車場でビアガーデン等のイベントを開催するのはどうか。 ・若い世代の働く場所の提供、そして人口減少を食い止めるためにも、企業誘致を進めていくべきと考える。また高い収入を得られることも大切だ。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場を利用したイベント開催については、工夫の余地があるのではないと思う。今市地区は中心市街地であり、移動手段の課題はあまり多くはないと思うが、宇都宮市が隣にあり、利便性も高いことから、日光市からの人口転出の理由の一つにもなっている。 ・子どもたちの職業選択の自由のためにも、市としても学力向上を目指している。 ・現在、日光産業団地の半分は獨協医科大学に残ってもらうことができ、残りの土地もオファーが多く来ている。就職で都会に出てスキルを磨き、日光市にUターンしてもらえる環境づくりも進めていけたらと考えている。

意見交換	<p>【課題2】 活性化</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今市の中心街がさびれている。街の中を明るくすることも含めて解決策を考えなければならない。 ・日光市には夜遅くまで営業している店や若者が遊ぶところがないという意見がある。 ・中心市街地を活性化させ、利便性の向上を図るためにも、駐車場の増設する。 ・船村徹記念館の場所は中心である。そこを今後どうするのか、何をやるのかが知りたい。 ・今市地区を活性化させるため、行政の取組の強化を図る。 ・第三者から活性化のためのアイデアを募集して、外から目線で日光の街なかを明るくする。明るさを取り戻すためには、一つのポイントだけではできない。点と点を結びつけて一つのゾーンを作り、にぎわいで活発化させる。 ・若い世代からは日光市にも映画館やスターバックスコーヒーなどの店舗があれば、との声がある。シャッター街となっているところ、渋滞の解消のためにも、駐車場の増設はどうか。 ・船村徹記念館の現状や今後の予定については、市民に対し今まで以上に情報の共有・発信をしたほうが良いのではないか。 ・イベント情報について、紙媒体だけでなくSNSも更に活用しながら、地域全体で更に共有・発信等の工夫ができればよい。 ・都市計画課と協力して、上今市駅周辺で「上今市駅周辺にぎわい勉強会」という活動を春日町1丁目、2丁目自治会役員等の13名で行っている。その関連で、駅近くの「今市宿市縁ひろば」について活用していきたいという声が多くある。 ・今年度の花火大会について、市の活性化にもつながるものであり、大成功だったと感じる。YEGや市の補助もあったが、長く続けるためにも今後も市と協力していけたらと思う。
	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船村徹記念館は国の補助金により作られたものであることから、R7までは他の用途への変更が難しいという事情もあり、現在無料で開放している。今後はR7までの間に市民の皆様を交えながら検討を進めていく。 ・今年度から、市役所内若手職員を中心として「まちなかりバースプロジェクト」というチームを立ち上げ、中心市街地の活性化を図るために活動を始めたところである。市民の皆さんや宇都宮大学ともコラボレーションしながら、また区画整理等とも結びつけながら、地域活性化のためのアイデアを見つけていきたい。 ・コロナ禍だったこともあり、イベント等多くの方への情報発信が難しいこともあった。一過性ではなく連携を図れるよう、また各世代に届くような情報発信ができるよう、工夫していきたい。 ・昔はもっと人が多く、お店も賑わっていた。皆さんの思い出のあるこの地域を復活できるよう、様々な意見を参考に取り入れながら考えていけたらと思う。 ・「今市宿市縁ひろば」については、立地も良いことから、今後の利活用のために民間提案に向けて投げかけを行っている。現在は、「道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣」の臨時駐車場等として、申請があれば利用は可能である。 ・花火大会については、苦勞も多かったが予想以上に地元企業の寄付金も多く集まったと聞き、明るい光が見えたと感じた。警察から交通安全上の指摘もあったが、そのような部分も改善しながら、今後も市として応援していきたい。

意見交換	<p>【課題3】 知名度アップ</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光市の知名度はあるが、今市地区の知名度、魅力があまり無い。 ・今市地区も大切である。足元を見て欲しい。 ・住みやすい街、今市を目指した事業を行う。 ・魅力を伝えるのは難しいが、今市の杉並木等、自然を利用して今市をPRすることで、イメージアップにつなげてはどうか。 ・G7経済効果は相当大きかったと聞いた。またテレビ放送の「ガイアの夜明け」での特集も宣伝効果があり、外国人観光客の方にも良いアピールになったのではないかと。また杉並木を利用したイベントとして、杉並木マラソンの再開は考えているか。 ・市長が考える日光市の知名度アップの方法はあるか。 ・前回の第4回今市地区まちづくり協議会の際には、地域振興課へのインターンシップ生が傍聴しており、最後の感想で一人から「今市は普通だ」という意見があった。普通というのはどんな方にもそう思ってもらえる、そしてこれから伸びていける、とてもいい言葉と感じた。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉並木について、現在通行止めとなったことから杉の葉や油がたまっており、使用するためには洗浄が必要になる。費用対効果の面や、現在の夏場の暑さの厳しさ等から医療関係者からも危ないのではとの声があり、開催が難しい。通行止めの関係で調整が必要な部分もあるが、場所を変えての復活等を検討している。 ・知名度アップの方法については、既に日光市という名前の知名度は高いため、各観光展や大阪万博に向けてもPRを考えている。またテレビ放送等のメディアの影響力は大きいと感じる。また現在は観光以外にも魅力を感じてもらえるよう取り組んでおり、例としては、直近でJAかみつがへの補助を行い、日光の希少米「しゃりまんてん」の精米施設が完成した。日光産のお米全体のPR等にもつなげていきたいと考えている。 ・「日光隠れすぎ遺産」というプロジェクトでは、お笑い芸人の方にも出演いただき、子ども世代からの意見も多く集まり、反響を頂いた。若い世代に対して有効なSNSやYoutube等でも、更なる知名度アップにつながるよう、また日光市の魅力を感じてもらえるような発信を行っている。
意見交換	<p>【課題4】 継承</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑豊かな今市地区の自然と歴史、身近な祭りごとをしっかりと次の世代に伝えていくことで、この地域への愛着が生まれる。 ・自然豊かなこの地域の様々な事象に触れることが大切であり、そういう機会をつくる必要がある。また、二宮尊徳記念館があるが、意外と二宮金次郎は知られていないことから、小学校で金次郎の話聞く機会を作ることが必要ではないか。 ・二宮尊徳記念館の職員に聞いたところ、記念館には田んぼづくりのための昔ながらの道具の展示もあり、ぜひ説明したいと思っているが、見学に来られた子ども達には時間の関係上説明できないことが多い、とのこと。 ・二宮尊徳の話が広まらない理由として、当時は給与がお米だった時代であることやその重要性、そしてなぜ日光まで開拓に来たのか等の、時代背景があまり伝わっていないからではないか。日光市の地域通貨をお米とするなど、新しい取り組みはどうか。 ・今市地区では、今市小学校近くの瀧尾神社や二宮神社のお祭り等があるが、近くの学校の子どもさえお祭りについて知らない、興味がないという話を聞いた。各町内で子どもたちに伝えること、盛り上げていくことも大切だと思う。 ・当番町以外のお祭りに行くことや、お祭りについて知る機会がない。大きいお神輿については、現在は今市高校や今市工業高校の学生に台車でひっぱってもらい、学校に対し部費として謝礼を渡す等で協力してもらっている。お囃子を出すと赤字になる地区も多く、それがネックになっていると聞いた。人数の関係等で今年は屋台祭りに参加できない自治会や、お囃子を他の自治会にお願いするところもある。 ・コロナ、インフルエンザ、食中毒等の課題が多く出てきた中で、自治会内でもお祭りをやるのは面倒だからやめよう、という気持ちが大きくなっているようだ。その気持ちを変えるためにも、市の大きな行事から雰囲気を変えてほしい。市長の出席もぜひお願いしたい。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史を学ぶことは、継承にも繋がるものであると感じる。市内の行事や、お祭りの様子や現在の状況、子どもたちとの関わり方について、皆さんから様々なお話を聞き知ることができた。 ・地域のお祭り、行事等にも積極的に出席できればと考えている。

意見交換	<p>【課題5】 共助</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化により、住民同士のふれあいが希薄になっていることから、災害時に助け合うことの難しさが生まれてくる。どうしたら住民同士が災害時に助け合うことができるのかの答えがでない。消防団においても、若者に入団してもらえない。消防団員が不足、減少の状況にある。 ・消防団については、消防団が頑張っている紹介・PR動画を市が作製して、SNSにアップしてもらいたい。消防団協力事業所などをもっと拡大することで、消防団員が増えるのではないか。 ・若い人に声をかけても、入りたくない、という消極的な意見が多い。コロナの影響でイベント等は中止が続いていたが、来年度は実施の予定もある。若い人に向けて、消防団の行事や出初式等の様子を紹介していけたらよい。 ・消防団の協力事業所への理解の促進、増加を進めたい。 ・昔は隣近所の繋がりが密接だったが、最近はコロナの影響もあり関係が希薄になり、全ての自治会活動に影響が出ていると感じる。大人の関心は低くなっているが、子育て世代は活動への参加も多いと感じている。何か方策はないかと考えている。市長の考えを聞きたい。 ・消防団に関して、クレーン等もあることから外食時には私服に着替えるよう通達している。しかし、活動中に都度着替えなければならないのは不便ではないか。 ・消防団に入っており、近隣の方や若い世代と知り合うことができる良い地域コミュニティだと感じているが、式典については、冬場では寒い、辛い部分も多く、負担が大きいと思う。予算的にも精神的な負担の面でも、今年度から表彰や式典は見直す予定である。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光市公式Youtubeには、ドローンを使った日光地域の消防団紹介動画も載せている。協力事業所は現在19事業所となっているが、なるべく多くなるよう市からも協力依頼をしていきたい。 ・「消防団サポート事業協力事業所」についてもPRしながら、消防団に入るメリット等も広めていきたい。 ・コロナの影響で、約3年間人が集まらなかったことは大きな影響があったと感じる。行事等は実行すれば楽しいが、現代はそのような行事がなくても、個人で色々なことを楽しむこともできる。そのような中で、自治会活動等に積極的に参加してもらうためには、先ほど話のあった子育て世代への呼びかけを通し、子どもの頃から自治会活動に参加してもらうこと、また大人世代に対しても機会を設け、重荷にならないように声掛けしていくことが良いのではないかと思う。 ・警察や消防等、制服のまま買い物をするなどに対しては、現在世間も寛容になってきていると感じる。消防ともやり取りしながら、そのような負担を減らしていけたらと思う。全国的に消防団の課題を耳にするが、式典の見直し等工夫の余地があると思う。
意見交換	<p>【課題6】 財源確保</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政的に厳しく、予算が確保できず、いろいろな事業が出来ない状況にある。 ・国からの予算の取り方はいろいろな方法があると思う。国からの予算を確保するために、市長に積極的に動いてもらい、財源確保をして欲しい。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度に則り、今後も直接の要望活動や陳情、各会議の積極的な出席に努める。 ・地域の価値の向上による固定資産税の増加や、豊富な資源、日光市の知名度を活かした企業誘致、ふるさと納税等、市民の負担を増やさずに税收増加にもつなげられるよう、知名度アップや産業振興に努める。 ・収入収支の中でやり繰りをする等、基本的な取り組みを続ける。

意見交換	<p>【課題7】 今市第二小学校の使用出来ないプールの撤去</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の時に使用不能となっしまい、そのまま放置されている。現状把握を早急にすべきである。本来なら何らかの方法で撤去、埋め立て、他の利用ということになるが、予算のからみで進んでいない。撤去作業を行い、駐車場として活用すべきである。 ・生徒も困っていると聞く。 ・土地も広く、近くに学校やお店、住宅もあることから何らかの形で活用していけたらと思う。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壊すよりも、新しく作らなければならないものが優先となりがちであることはやむを得ない部分であり、ご理解いただきたい。 ・現在、これから策定する実施計画において、R7解体設計、R8解体工事を計画中であり、予算編成で査定を始める予定である。時期についての検討や、市内のその他学校施設との兼ね合いがあることを了承いただきたい。
意見交換	<p>【課題8】 特別教室(音楽室や理科室、美術室など)には、エアコンの設置がなく、そこで授業を受ける生徒や先生が軽度の熱中症になるなど、危険な教室が存在している。</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、小中学校の統廃合が進んでおり、使用していない学校に新しいエアコンが残っているならば、特別教室に設置し直して欲しい。 ・共助の面でも、災害時は小学校体育館が避難所になるが、現在空調が配備された体育館は市内にない。有事に備え、防災方面から予算を使い、エアコン設置を検討してもらいたい。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別教室のエアコン設置は必要であると認識している。しかし、市内の必要な箇所に設置する場合には、7~8億円の費用がかかる想定となっている。設置について仕様等含め検討しているが、国からの補助は全くない状況であり、購入ではなくリースも含め今後検討予定である。 ・体育館へのエアコン設置について、県南は設置が多く、また宇都宮市は全校設置済である。私は将来的に必要なだと認識しているが、財源をどうするかは市の負担もあることから、市全体の予算の中で計画的に取り組んでいかなければならない。国の補助もあるようだが、設置のためには断熱処理が必要であることも課題となっているため、今後情報収集に努める。